

令和7年6月25日

福知山市議会議長 吉見 茂久 様

予算審査委員会委員長 田渕 裕二

委員会審査報告書

本委員会に付託された議案について、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第80条の規定により報告します。

記

1 委員会付託議案

- ・ 議第 5号 令和7年度福知山市一般会計補正予算(第3号)
- ・ 議第12号 財政調整基金の繰入れについて
- ・ 議第20号 令和7年度福知山市一般会計補正予算(第4号)

2 審査の概要

6月18日、19日に委員会を開催し、付託議案の審査を行いましたので、主な概要について報告します。

初めに、議第5号のふくちやまプロモーション事業について、「大阪中之島フェスティバルタワーウエストに設置するアンテナショップについて、職員配置やデジタルサイネージの設置期限、運営方法など」を問う質疑があり、「職員の配置は考えていない。デジタルサイネージの設置期限については特に定めていない。アンテナショップは、一般社団法人福知山地域振興社が設置し、運営委託事業者に店舗運営を任せる。運営委託事業者と協力して事業を推進していきたい」との答弁がありました。また、「デジタルサイネージでPRする動画コンテンツの内容」を問う質疑があり、「アンテナショップ周辺のターゲット層に絞った形で、福知山の良さやふるさと納税の返礼品の良さが伝わる効果的なコンテンツを制作し、プロモーションを強化したい」との答弁がありました。

次に、災害時資機材整備事業について、「備蓄物資の増強の内容など」を問う質疑があり、「災害時の避難所運営等に必要な備蓄物資や資機材の整備を行い、さまざまな災害に対応できる体制強化を図っている。今回、食料備蓄等の増強を図る理由は、本市では三峠断層による災害時における最大避難者数19,450人を基準として、京都府の公的備蓄等にかかる基本的な考え方の見直しがあったことから、令和7年度から令和10年度の期間で必要とされる物資の備蓄を進める」との答弁がありました。

次に、福知山市住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業について、「給付事務委託業務の内容」を問う質疑があり、「申請審査システムの構築、コールセンター業務、確認書の発送や給付金入力データの作成など、今回は給付事務をすべて一括で業者に委託する方法を考えている」との答弁がありました。

次に、新型コロナウイルスワクチン接種事業について、「定期接種移行後のワクチン接種について、本市独自の助成制度の内容など」を問う質疑があり、「定期接種に移行後、令和6年度は国の助成があったが、令和7年度からは廃止となっており、助成制度は自治体によって設定することとなっている。高齢者等が円滑にワクチン接種できるよう接種費用一件あたり約15,000円の自己負担額を7,500円に、残りの約半分を市の負担としている。また、市民税非課税世帯、生活保護世帯等の接種費用は免除としている」との答弁がありました。

次に、社会福祉法人等施設整備補助事業について、「介護職員宿舎施設整備事業の内容と今後の見通し」を問う質疑があり、「今回の施設整備は、近隣の建物を改修し、新規介護職員3名が利用する予定になっている。今後の見通しは、京都府の財源の問題もあるが、今後についても事業所からのニーズがある場合は京都府に要望していきたい」との答弁がありました。

次に、公設民営診療施設維持管理事業について、「三和地域における医療機関の利用状況等調査の目的と手法」を問う質疑があり、「調査の方法は、三和地域に居住する方を対象に全世帯に調査票を配布することで、地域の現状をより広く細かく把握したいと考えている」との答弁がありました。

次に、花火大会検証事業について、「花火大会の安全対策にかかる補助金300万円の内容」を問う質疑があり、「昨年度は保険料のみの補助となっていたが、今年度は、保険料と主に警備費などの安全対策費用にかかる補助金を支出する予定としている。花火大会の規模については、昨年は8,000人の来場者を見込んでいたが、今年度は1万8,000人を見込んでおり、打上発数も昨年の2,000発から4,000発に増やすと聞いている。来場者増加に対応する雑踏警備について、交通規制による雑踏回避や混雑する箇所を入念に警備することなどを聞いている」との答弁がありました。

次に、丹波くり振興事業と稼げる農業応援事業について、事業の開催時期や日数、2事業の合理的な事業推進」を問う質疑があり、「丹波くり振興事業のアンテナショップでの催事開催については10月頃を予定し、稼げる農業応援事業と同日開催を計画している。PRチラシやのぼりの作成など必要資材の共有や役割を連携し、経費節減に努める」との答弁がありました。また、「稼げる農業応援事業の催事においては、さらに冬野菜の収穫時期に開催する」との答弁がありました。

次に、中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業について、「燃えがら検査業務委託と燃えがら処分委託の内容」を問う質疑があり、「検査業務は、検体ごとに2つの事業者で検査を行っている。2者の検査費用が約半年ほど必要になると考えている。燃えがらの処分は、現在、フレコン

に保管している数値の高い燃えがらについては、福知山市の一般廃棄物処分場ではなく専門の処理業者での処分を検討している。委託業者については、市内外、府内外で探しており、予算の通過後に、発注の先を検討していきたい」との答弁がありました。

次に、ゼロカーボンシティ推進事業について、「バイオ炭の農地施用によるカーボンクレジット創出ポテンシャル調査の内容」を問う質疑があり、「市内で見込めるポテンシャルについては、農業事業者や農業関連団体にヒアリングし、費用や作業の面、実際に生み出せる排出抑制の効果量などを調査していきたい」との答弁がありました。

なお、議第12号についての質疑はありませんでした。

反対討論

議第5号について反対する。新型コロナウイルスワクチン接種事業については、すでに国は助成を終了しており、国費での接種を進める必要がないと判断している。自治体が独自に接種体制を維持し続けることの妥当性の再検討が必要と考える。また、健康被害の規模が過去のワクチンに比較して大きくなっている。接種そのものを一律に否定するものではないが、現在の科学的知見と実績を踏まえれば、行政はむしろ中立的な立場で、必要な情報提供と相談対応に注力すべきと考える。以上の理由から本事業への予算措置に反対する。

賛成討論

全議案について賛成する。物価高への対応のための支援、また民間の保育所や社会福祉施設等の福祉施策に対する支援、そして、市民有志が立ち上がり、まちの活性化に資するための花火大会への支援。さらには、都市部において福知山産品をPRするための費用など、本市の活性化等に資する費用がふんだんに盛り込まれている予算案であることから賛成する。

3 審査結果

- ・ 議第 5号 賛成多数で原案可決
- ・ 議第12号 全員賛成で原案可決
- ・ 議第20号 全員賛成で原案可決